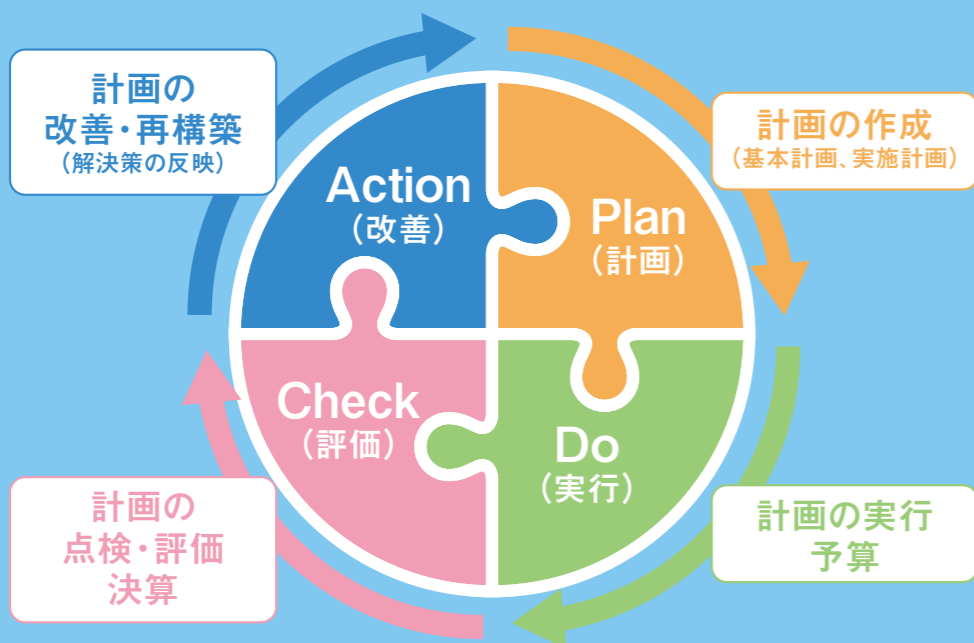


基本計画の進行管理

基本計画では「施策目標」「目標値(活動指標・成果指標)」を明示し、PDCAサイクルによる成果に対する的確な管理を行う仕組みを導入します。



ふるさとを誇り 未来を拓くまち 鹿角

第7次 鹿角市総合計画 後期基本計画

後期：令和8年度—令和12年度

概要版

鹿角

ふるさとを誇り
未来を拓くまち

CONTENTS 目次

- 2-3 ● 鹿角市を取り巻く社会情勢
- 4-5 ● 将来都市像
- 6-7 ● 第7次鹿角市総合計画後期基本計画の8つの柱
- 8-12 ● 暮らしを守る5つの基本戦略
- 13-15 ● 都市経営の視点で攻める3つの経営戦略
- 16 ● 総合計画の進行管理

第7次 鹿角市総合計画 前期基本計画

前期：令和3年度—令和7年度

計画書の全文は鹿角市公式ウェブサイトにてご覧いただけます

発行・お問い合わせ先 鹿角市総務部政策企画課

〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1 TEL 0186-30-0201 FAX 0186-30-1122
E-mail kikaku@city.kazuno.lg.jp URL <http://www.city.kazuno.akita.jp/>



鹿角市

鹿角市を取り巻く社会情勢

前期基本計画の策定後も、鹿角市を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。中でも、本市の将来に大きく影響するのが、人口減少と少子高齢化の進行です。後期基本計画では、若者の定着・回帰と子育てしやすい環境づくりを進め、持続可能な地域を目指します。



1 人口減少・超高齢社会の進行

— 若者世代・回帰と人口構造の若返りに向けて —

本市の人口は、昭和30年をピークに減少が続き、令和2年の国勢調査では29,088人となりました。国の推計では、今後も人口減少が続き、2040年には18,000人台、2050年には14,000人台まで縮小すると見込まれています。特に、生産年齢人口の減少は、地域の担い手不足を一層深刻にします。

人口減少を緩やかにし、地域を支える力を保つには、若者、とりわけ若年女性を含む若者世代が「帰ってきたい」「暮らし続けたい」と思える環境づくりが重要です。あわせて、結婚・子育ての希望をかなえやすい地域づくりを進め、人口構造の若返りにつなげていきます。

[目指すべき将来の方向]

方向性1

若者が帰ってきたいと思えるまちを実現し、社会減少を抑制

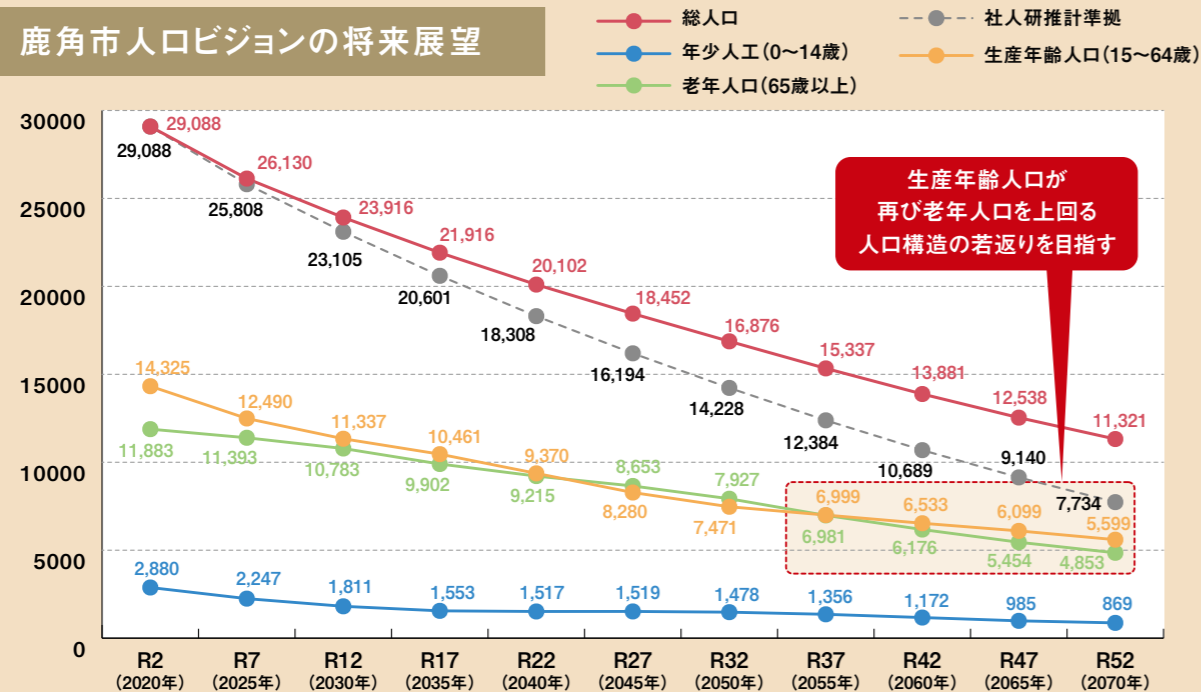
▶ 進学や就職で市外に出た若者のUターンを促進するとともに、若者が魅力を感じる仕事づくり、働きやすい職場環境づくり、関係人口の拡大を進めます。

方向性2

安心して子どもを持つことができるまちを実現し、自然減少を抑制

▶ 若い世代の視点に立って結婚・子育てに関する希望形成を支え、仕事と生活の調和の確保や、包括的な子ども・子育て支援を進めます。

鹿角市人口ビジョンの将来展望



2 地域経済の足止め

いかに労働力を確保・維持しながら、外から稼ぐ力を強めていくかが重要です。



4 国際化の新たな局面の到来

世界に誇る文化遺産を武器に、デジタルと共生の視点を持って、鹿角市をグローバルな選ばれざるまちな進歩させることが重要です。



6 脱炭素社会の実現

豊富な自然資源を活かし、環境を守りながら地域の産業・経済も強くしていくことが重要です。



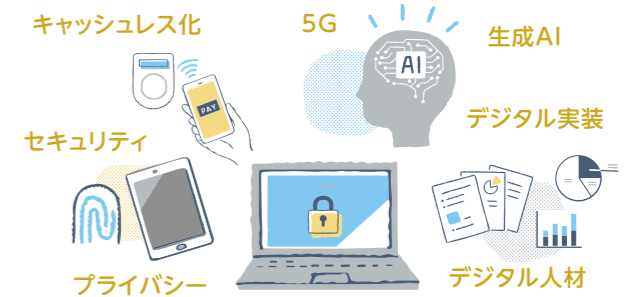
8 土地利用の量から質への転換

広大なまちをコンパクトにし、今ある拠点の密度と使い勝手を高めて、持続可能にすることが重要です。



3 未来技術の進展

技術の進化を、格差や不安を解消しつつ、いかに実際の社会の豊かさに結びつけるかが重要です。



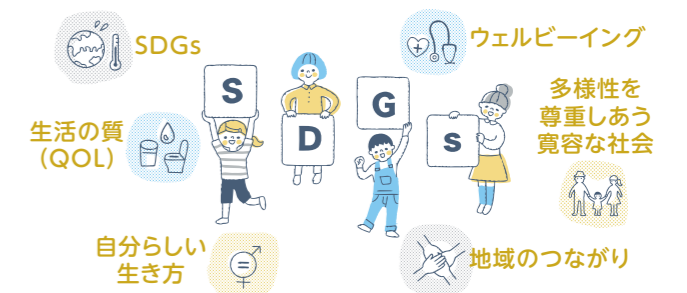
5 安全・安心を脅かすリスクの増大

ハード(施設)とソフト(組織・意識)の両面から、多角的なリスクに備えることが重要です。



7 社会の成熟化に伴う価値観の多様化

「地域のためにみんなで頑張ろう」から「一人ひとりが自分らしく幸せであるために、共に動こう」と意識改革が重要です。



9 ひっ迫が懸念される地方財政

収入を増やし、維持費を賢く削って、将来もサービスを続けられるまちをつくるのが重要です。



将来都市像

ふるさとを誇り 未来を拓くまち 鹿角

わたしたちのまちには、幸福を感じる時間や場所が至るところにあります。

大自然に抱かれた四季折々の本市の姿は、特有のものであり、また、心が癒されるゆとりのある生活空間や暮らしのひときはかけがえがなく、これを受け継いでいくことは、新しい時代を生きるわたしたちにとっても、不変の願いです。

しかし今、わたしたちを取り巻く社会の変化が、わたしたちの暮らしや働き方に大きな変革をもたらそうとしています。

多くの先人たちの手によって作り上げられてきた「ふるさと鹿角」の価値を、これからもわたしたち市民一人ひとりの手によって形づくりながら、その先に鹿角の光り輝く未来を拓いていくことが大切です。

すべての市民がふるさとに誇りをもち、紡がれてきた価値を最大限に生かしながら、新たな時代へ自分らしくチャレンジすることで、市民一人ひとりが自分らしく幸せ(ウェルビーイング)で、未来に希望を抱いて暮らせるまちの実現を目指し、「ふるさとを誇り 未来を拓くまち 鹿角」を将来都市像に掲げています。

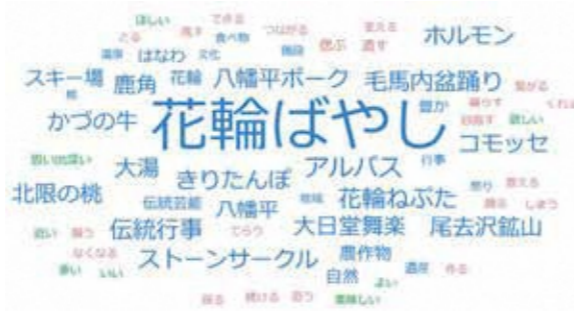


1 市長と語る鹿角の未来 — 総合計画市民対話会 —

市長が後期基本計画の狙いや重点施策取組方針など、これからのまちづくりの方向性について市民に直接説明し、対話を通じて市の未来について語り合いました。



2 総合計画策定に向けた 若者アンケート



ユーザーローカル テキストマイニングツール

高校生から39歳までの若者397人から回答をいただき、自由記述欄の「将来に残したいもの」をテキストマイニングという手法で分析し、若者の願いや将来に対する意識を分析しました。

3 かつの未来会議でのワークショップ

令和6年度から2年間にわたり、市民委員による後期基本計画策定のためのワークショップを開催してきました。「グラフィックレコーディング」という手法を使いながら、市民の思いや願いを共有し、計画に反映しました。



4 かつの未来の若者会議 — もっと鹿角が楽しくなる! —

若者が参加できるまちづくりや、若者の夢が叶うまちづくりに向けて、中学生・高校生による「かつの未来の若者会議」を開催し、若者の声を後期基本計画へと反映させました。



Aグループ

人と人の“輪”が若者に 希望を与えるまち・鹿角

- 若者が「帰ってきたい」と思えるまちであってほしい。そのためには、戻ってきたときに迎えられる場や、仕事探しを手伝う仕組みが必要だと思う。
- 市民同士のつながり(輪)の強さを若者にも広げるべきであり、若者が意見を発言できる機会や交流できる場が生まれ、市役所や市内企業、学校へつながりが広がってほしい。
- 若者が市と協力し、豊かな自然や観光スポット、食文化などの魅力を発信することで、鹿角の良さをPRできるとよい。

Bグループ

初めての方大歓迎! みんなで取り組もう 『鹿角プロジェクト!』

- 市外から人を呼び込むためには、様々な分野で「体験型」のメニューが必要であり、豊かな自然を活かしたバーベキューやキャンプ体験、美味しく味わう収穫体験、伝統文化を活かした祭り体験、観光スポットを巡るツアーなどを行ってほしい。
- 若い人が市外へ出ていなくても済むように、強みである農業を活かして農業を学べる大学を創設するとともに、くつろげる娯楽施設の設置も必要だと思う。

Cグループ

たくさんの人が 関わるができるまち・鹿角

- 若者が「帰ってきたい」と思えるまちであってほしい。そのためには、戻ってきたときに迎えられる場や、仕事探しを手伝う仕組みが必要だと思う。
- 市民同士のつながり(輪)の強さを若者にも広げるべきであり、若者が意見を発言できる機会や交流できる場が生まれ、市役所や市内企業、学校へつながりが広がってほしい。
- 若者が市と協力し、豊かな自然や観光スポット、食文化などの魅力を発信することで、鹿角の良さをPRできるとよい。

将来像を実現し、新たな“かづの”をつくる 8つの柱

私たちは、鹿角のあるべき姿＝将来像を実現するために、
鹿角の強みを活かす8つの柱(戦略目標)を掲げ、新たな“かづの”を創造します。

基本戦略1

しごとづくり

2030年に目指す姿

地元企業の稼ぐ力が高まり、若者や専門人材が地域に定着しています。
自分らしい働き方を選べるようになり、安心して働いています。



基本戦略2

くらしづくり

2030年に目指す姿

長生きを前向きに捉え、いくつになっても新しいことに挑戦できています。
病院探しや通院の負担が、広域的な支え合いによって軽減されています。
結婚が人生を豊かにする前向きな選択肢として受け止められています。
社会全体で子どもを大切に育む意識が広がり、若い世代が未来に希望を持っています。
地域で支え合いながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられています。
無理に周りに合わせなくても、誰もがありのままの自分でいられる心地よさを感じられています。



基本戦略3

すみよいまちづくり

2030年に目指す姿

災害時でも安定して水が確保され、快適な暮らしが守られています。
空き家・空き地が地域の資産として管理され、住み慣れた地域で、ずっと安心して暮らせています。
移動手段を不安に感じることなく、安心して生活できています。
市民一人ひとりが資源循環の担い手として社会に参加している実感が持っています。
自然を、自分たちの生活を豊かにしてくれる大切な資産として守り、生かしています。



基本戦略4

あんぜんきばんづくり

2030年に目指す姿

防災意識が地域に根付き、一人ひとりが自ら備え行動できています。
もしもの時に孤立せず、確かな救助の手と地域の力に支えられています。
安全で使いやすいインフラが、持続可能なかたちで維持されています。
特別な警戒をしなくても、当たり前の日常が当たり前が続いていきます。



経営戦略3

ともにつくるまちづくり

2030年に目指す姿

民間の力も生かしながら、将来の負担を抑えた持続可能な行財政運営が行われています。
人に優しいデジタル化が進み、必要な行政サービスを便利に利用できています。
顔の見える、安心感のある地域社会が維持されています。
賑わいがあり、利便性の高い、次世代に引き継げるまちへと進化しています。



基本戦略5

ひとづくり

2030年に目指す姿

子どもたちが、自分らしくのびのびと未来を描いています。
子どもの育ちを地域で支え、ともに学びながら、まちの未来に希望を持てる環境が整っています。
日々の暮らしの中で学びが活かされ、地域とのつながりや生きがいを実感できています。



経営戦略1

にぎわいづくり

2030年に目指す姿

若者がまちづくりの共創パートナーとして主体的に活躍しています。
多様な交流が広がり、地域への誇りと安心感が高まっています。
農業が地域を牽引する成長産業として発展しています。
質の高いスポーツ環境が身近にあることで、交流と賑わいが生まれています。
地域の強みを活かした特化型の産業クラスターが形成されています。
脱炭素による新産業の創出と、市民のウェルビーイング向上を両立する社会へ進んでいます。



経営戦略2

みりょくづくり

2030年に目指す姿

歴史や文化を活かした交流や賑わいが生まれ、学びと自己実現の機会が広がっています。
ストーリー性のある体験が観光の魅力を高め、強い愛着を持ったファン層が繰り返し訪れています。



しごとづくり

目標 1人当たり
市内総生産 **3,500**千円

目標 地元産業が元気で活力が
あると思う市民の割合 **50%**

取組方針1 産業振興

若い人や外国人、副業で
稼ぐ人が増えてきた。



2030年、市民の実感

鹿角のしごとは 面白い!

取組方針2

労働・雇用

希望するワーク・ライフ・
バランスに応じた働き方
が定着。男性の育児参加
が当たり前になった。

鹿角のチャレンジ

- 企業・農林業経営体が鹿角の強みを活かして行う取組を応援し、地域の稼ぐ力を伸ばします。
- スポットワークやテレワークなど新たな働き方にチャレンジする企業を増やします。

私のチャレンジ

くらしづくり

目標 健康寿命
(男性) **81.60**年

目標 出生数
(累計) **904**人

目標 健康寿命
(女性) **87.60**年

目標 心身ともに健康に暮らせ
ていると思う市民の割合 **70%**

取組方針3 健康づくり

健康診査・がん検診のメニューが
充実して受診しやすくなった。健
診結果を活用した健康づくりが
サポートされている。

取組方針6

出会い応援・結婚支援

結婚に前向きな若者が増えた。

取組方針7

子育て支援

子育て支援サービスが
充実。育児ニーズに対
応した様々なメニュー
が用意されている。

取組方針4 医療

自分が受診すべき
診療科目が市内の
病院にある。

いくつになっても 自分らしく 元気でいられる

取組方針5 高齢者福祉

人と人とのつながりの中、だれ
もが住み慣れた地域で安心し
て暮らしている。

取組方針8 共生社会

年齢・性別・国籍や、性自認、
障がいの有無などにかかわら
ず、多様性が尊重され、自分
らしく過ごせる。

鹿角のチャレンジ

- 健康イベントなどを通じて、自分の身体と向き合うきっかけをつくれます。
- 医療ビジョンを策定し、市民と医療機関の双方が将来の方向を理解できる持続可能な医療を目指します。
- ヒトとAIでのハイブリッド型の結婚支援により、一步を踏み出しやすくする雰囲気と仕組みをつくれます。
- 雨の日でもこどもと遊べる空間を整備します。
- 高齢の方が活躍できる場づくり・機会づくりを進めます。
- 誰もが社会参加しやすく、多様性を尊重する寛容な社会へと意識・行動の変革を促します。

私のチャレンジ

すみよいまちづくり

目標 生活環境が快適なまち
だと思ふ市民の割合 60%

取組方針 9 上下水道
美味しい水が飲める。



取組方針 10 住宅
まちなかの空き家が
リノベーションにより
有効活用されている。



取組方針 12 廃棄物処理
3R運動が定着。ごみの
少ないきれいなま
ちになっている。

取組方針 13 自然・環境
クマと人の生活圏がき
ちんと分離している。

2030年、市民の実感
毎日の暮らしが、
無理なく心地いい

取組方針 11 公共交通
路線バスやAIデマンド
バスなどのきめ細かい
役割分担によって公共交
通が使いやすくなった。



鹿角のチャレンジ

- 施設の機能・コスト・リスクのバランスを取りながら、持続可能な企業経営を進めます。
- 適正に管理されている空き家を増やし、活用を促します。
- 既存の公共交通を補完するAIデマンドバスを導入し、だれもが利用しやすい交通ネットワークを整備します。
- 資源循環の仕組みを強化するため、プラスチック容器包装の分別収集に取り組みます。
- 緩衝地帯の整備や鳥獣管理員(ガバメントハンター)を配置し、まちなかでのクマ被害を無くします。

私のチャレンジ

あんぜんきばんづくり

目標 安全で安心して暮らせる
まちだと思ふ市民の割合 80%

取組方針 14 防災
防災訓練や出前講座を
通じて、万一の災害へ
の備えが進んでいる。



取組方針 15 消防・救急
若い世代が消防団に加入し、
地域で頼りになる存在に
なっている。



2030年、市民の実感

もしもの時も
鹿角なら大丈夫!



取組方針 16 土木インフラ
老朽化したインフラが
適正にメンテナンス・更
新されている。



取組方針 17 防犯・交通安全
事故ゼロ、犯罪発生ゼロが
ずっと続いている。



鹿角のチャレンジ

- 自治会や市民センターを起点に、地域のまとまり・団結力を育み防災力を強化します。
- Live(ライブ)119の導入により、通報時の現場映像から迅速な救助活動につなげます。
- AIやICT技術、オープンデータなどを取り入れ、効率的な保全管理を目指します。
- 消費者生活相談にあたり、対面とオンラインが「ちょうどよく」選択できる仕組みをつくります。

私のチャレンジ

ひとづくり

取組方針 18 学校教育

ICT機器やリモート授業を活用し、児童一人ひとりに合わせた教育を進め、確かな学力が育まれている。



目標 将来の夢や目標をもって
いる児童生徒の割合 86.0%

取組方針 19 地域教育

市民団体や地域の人や企業が子どもたちを応援し、みんなで育てる取組が活発に!

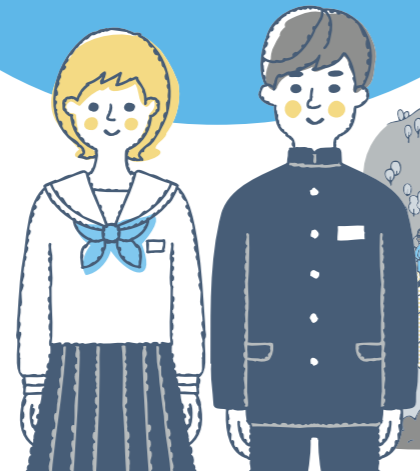


取組方針 20 生涯学習・ 社会教育

体験型で学べる選択肢が多くある。



2030年、市民の実感
ここなら
夢がもてるし
挑戦できる



鹿角のチャレンジ

- ICT機器の活用を通じ、一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育を推進します。
- 地域に愛着や誇りを持つ本物との出会いにより、子どもたちの郷土愛を高めます。
- 若者議会に取り組み、行政に声を届けられる若者を育成します。

私のチャレンジ

にぎわいづくり

目標 直近5年間の人口の
社会増減の累計 285人減

目標 市外から人が訪れたいくなる
魅力のあるまちだと思える市民の割合 50%

取組方針 21

若者活躍

若者や高校生の活躍を目にする機会が増えた。

取組方針 23

農業振興

スマート農業が定着し、自走するトラクターが当たり前になった。



取組方針 24

スポーツ振興

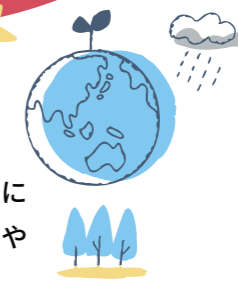
スポーツ大会や合宿の適地として定評を得て、スポーツを目的に鹿角に来る人が増えた。



取組方針 26

脱炭素

自ら脱炭素化に取り組む市民や企業が増えた。



取組方針 22 地域間交流

首都圏の人と鹿角をつなぐ交流セミナーや現地体験ツアーが活発化。地域の受入体制が整い、鹿角に関わる人(関係人口)が増えた。



2030年、市民の実感
若者が動き、
まちにワクワクが
生まれている

取組方針 25

企業誘致

効果的な鹿角のPRにより首都圏にある企業の本社機能やサテライトオフィスの誘致が相次いでいる。

鹿角のチャレンジ

- 健康イベントなどを通じて、自分の身体と向き合うきっかけをつくれます。
- 医療ビジョンを策定し、市民と医療機関の双方が将来の方向を理解できる持続可能な医療を目指します。
- ヒトとAIでのハイブリッド型の結婚支援により、一步を踏み出しやすくする雰囲気と仕組みをつくれます。
- 雨の日でもこどもと遊べる空間を整備します。
- 高齢の方が活躍できる場づくり・機会づくりを進めます。
- 誰もが社会参加しやすく、多様性を尊重する寛容な社会へと意識・行動の変革を促します。

私のチャレンジ

みりょくづくり

目標 観光消費額 (年間) | 7,503百万円

目標 文化遺産が豊富で誇れるまちであると思う市民の割合 | 60%

取組方針 27

歴史・伝統・文化

指定文化財等が適切に保存されている。ICT技術により文化財の特徴や価値をわかりやすく発信している。



2030年、市民の実感

世界に誇れる宝が人を惹きつけている



取組方針 28

「世界遺産のまち」として知名度アップ! 鹿角を何度も訪れる外国人観光客が増えた。



鹿角のチャレンジ

- デジタルアーカイブを整備し、文化財資料の魅力を市内外に発信します。
- 鹿角の魅力を余すところなく体験型のコンテンツとして磨き上げ、国内外から大勢の観光客を呼び込みます。

私のチャレンジ

ともにつくるまちづくり

目標 実質公債費比率 (直近3年間の平均) | 18%未満

目標 自分に必要な行政サービスが受けられていると思う市民の割合 | 70%

取組方針 29

行財政運営

ふるさと納税のポータルサイトが魅力的。返礼品も充実し、ふるさと納税といえば鹿角の名前が挙がる。



2030年、市民の実感

必要なサービスがきちんと届く



取組方針 31

地域コミュニティ

人と人のつながりの中、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らしている。



取組方針 30

情報化・DX

SNSを通じて世界中のフォロワーに鹿角の情報をタイムリーに発信している。

取組方針 32

コンパクトシティ

中心市街地にお店の連続性が確保されて人の流れが形づくられている。

鹿角のチャレンジ

- ふるさと納税を通じて、ずっと応援したいと思える自治体を目指します。
- 公式SNSや統計ダッシュボードを通じて、市の情報を分かりやすく届けます。
- 市民、NPO、企業、行政がそれぞれの強みを生かし、連携しながらまちづくりを進めます。
- 居心地がよく、歩く楽しみがある空間づくりにより、まちなかエリアの魅力を高めます。

私のチャレンジ